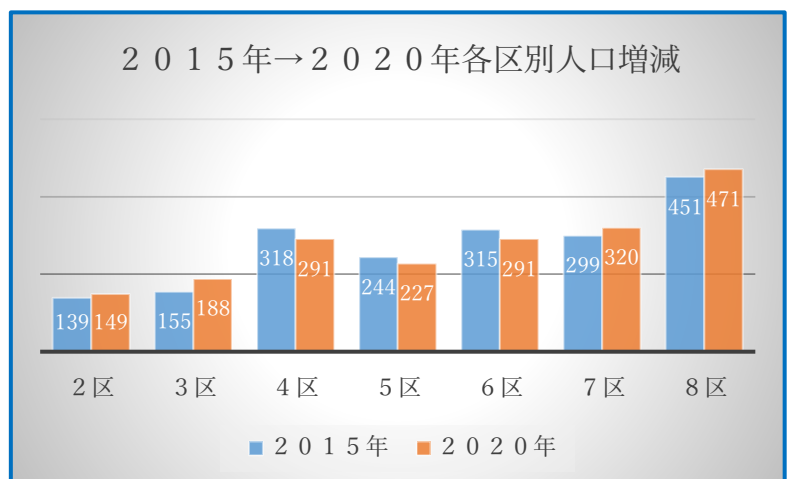
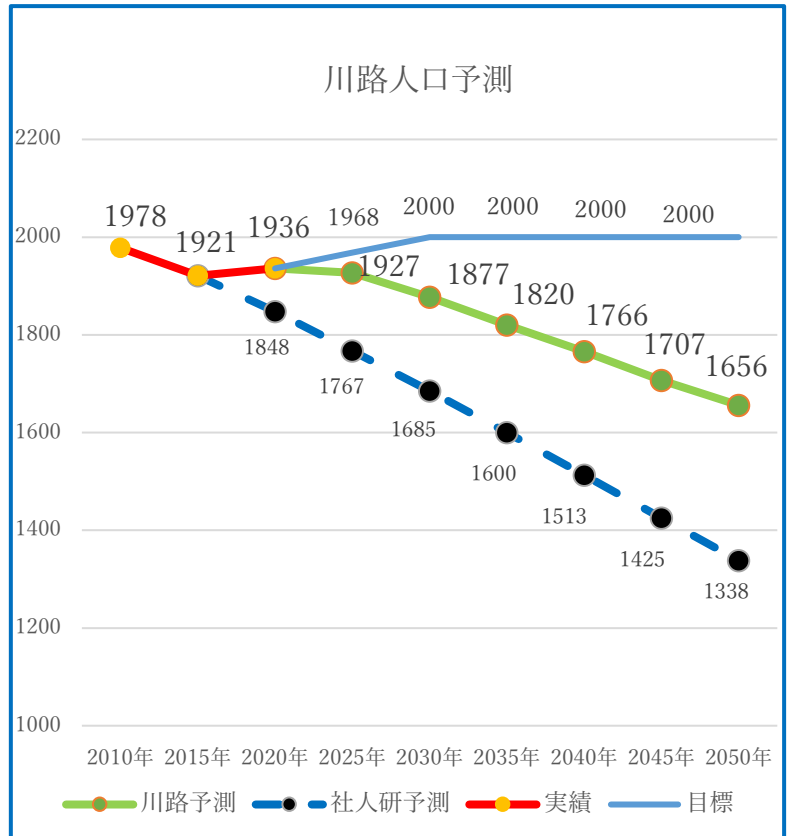
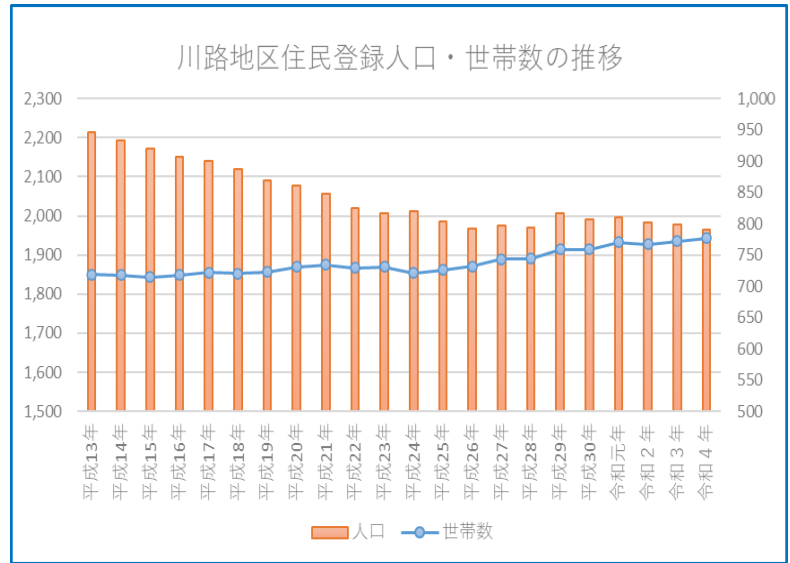


『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2022年（令和4年）10月26日

川路の人口は今後どのように推移していくのでしょうか？川路基本構想の検討に際し、一番気になる内容でした。右のグラフは平成13年から令和4年までの川路の人口と世帯数の推移です。平成13年から平成26年までの人口は減少傾向でしたが、平成27年から僅かですが増加に転じ、飯田市の中でも貴重な地区になりました。しかし平成29年をピークに又減少傾向になってしまっております。国立社会保障人口問題研究所が飯田市の人口予測を行っており、そのデータを川路にあてはめると、2050年には1338人に減少してしまいます。こんなに減少してしまっは大問題ですが、川路は飯田市の中でも減少レベルは少ない地域ですので、1338人まで減少することはないと思われます。そこで島根県中山間地域研究センターが開発した人口予測ソフトを使い川路の2010年と2020年の国勢調査の結果を元に人口予測を試してみましたのが右図の「川路予測」の黄緑色の折れ線グラフです。2050年には1656人に減少する予測となっております。この予測をベースに、対策を講じて行く訳ですが、川路基本構想検討の中で、将来の目標人口を平成29年の2007人レベルを維持したいとの考えより、2000人と決めました。この目標数字は大変厳しい目標になりますが、Uターン、Iターン受け入れの積極推進、子供たちが故郷に愛着を持ち、将来川路に帰って来ようと思える様な活動、空き家削減活動、若いカップルが住んでみたいと思えるような街づくり活動、等々を推進して行くことで人口を維持して行きたいと考えております。区毎の人口増減データを参考に、タウンミーティングの中で人口維持に向けたご意見、ご提案を是非いただきたく宜しくお願い致します。



天龍峡秋の彩展が始まりました

「菊の連作は難しい！」このことをご存知ですか？相生「花いっぱい運動」有志の会の皆さんが愛情込めてドーム菊を育てましたが、連作障害に遭ってしまい600鉢ほど育てたものの、1割の60鉢ほどしかものになりませんでした。幸いリスク対応として2名の会員が個人畑で育てたドーム菊が立派に育ち、何とか「天龍峡秋の彩展」と7区他の希望者分をお配りすることが出来ました。天龍峡界限に300鉢ほど並べてあります。今年の開花は例年に比べ遅く、未だにつぼみの菊が多いですが、姑射橋広場他のドーム菊を是非お楽しみください。



姑射橋広場に展示されたドーム菊

天龍峡マルシェが盛大に行われました

10月23日の日曜日、朝一番は霧雨が降り心配されましたが、すぐに晴れ渡り、秋の青空の下天龍峡マルシェが盛大に行われました。今村正大会長の開会宣言に続いて天龍峡龍神の舞が披露され、祭りを盛り上げていただきました。2年間お休みだった豊橋のヤマサちくわが、2mのジャンボちくわ実演を4回も実施していただき、無料で振る舞いが行われたり、30店出店のテント市と100店出店のクラフト市に1万人を超える（公式発表は5000人と控えめの数字ですが・・・）人出があり、大賑わいでした。飯田線も臨時列車を出していただきましたが、乗ってこられた方が、「飯田線の超満員列車は初めて！」と驚くほどの人出でした。今年は主要箇所の警備をプロに依頼し、公式駐車場は多目的広場一カ所に集中して、大きな混乱もなく無事終えることが出来ました。天龍峡マルシェは南信地方の秋の大きなイベントに確実に育ってきたという印象を受けました。

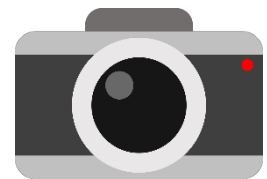


大勢の人出となったテント市会場

川路の宝フォトコンテスト応募

ありがとうございました

10月10日まで募集期間を延長した川路フォトコンテストですが、お陰様で大勢の皆さんに応募いただき、71点の作品が集まりました。審査員は七区の北澤章博さんをお願いしてありますが、皆さんにも審査に参加していただくように現在案を検討中です。10月29日に優秀な作品を選んでいただき、文化祭に展示します。その中から皆さんの投票で決める案が有力です。是非文化祭の展示を見に来ていただき、「川路の宝フォトコンテスト」のコーナーで良いと思われる写真に投票をお願い致します。応募していただいた作品で来年の川路カレンダーを作成します。



応募作品の一例紹介です